

2026 年 7 月例会を開催

2026 年 7 月 30 日 (木)、日本中華總商會 7 月例会をホテルグランドアーク半蔵門にて開催し、会員・来賓を含む約 180 名が参加しました。例会に先立ち、評議員会および法定理事会を開催し、総商會の運営に関する各議案について審議/承認が行われました。

本例会では、グレートジャーニー合同会社代表、東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員、藤田医科大学客員教授の安川新一郎氏を講師にお迎えし、「未来思考 2045—日本と日本企業の 20 年後の未来を考える (Future Thinking 2045)」をテーマにご講演いただきました。

開会にあたり、会長の蕭敬如より挨拶が行われ、変化の激しい国際情勢の中で未来を見据えた視点を持つことの重要性や、日本中華總商會が世界華商ネットワークを活かしながら、日中経済交流と企業発展に貢献していく方針について述べられました。

講演では、安川氏が AI の進化、人口動態、地政学的変化、環境問題など、多角的な視点から 2045 年の社会像を分析。「未来予測」と「未来思考」の違いを分かりやすく解説し、不確実性の高い時代だからこそ、自ら未来を構想し行動することの重要性について、多くの示唆をいただきました。講演後の質疑応答では参加者から活発な質問が寄せられ、未来の企業経営やイノベーションについて理解を深める有意義な機会となりました。

続いて、常務副会長の尚捷より講演者への謝辞が述べられた後、各委員会・グループおよび事務局より活動報告が行われました。また、新入会員 16 社の紹介および会員バッジの贈呈を実施し、新たな仲間を歓迎しました。

さらに、総商會最大の年次イベントである「2026 CCCJ WEEK」について、9 月 10 日開催に向けた概要や準備状況が紹介され、参加企業・会員に向けて積極的な参加が呼びかけられました。

例会終了後は恒例のビジネス交流会を開催し、参加者同士が業種や立場を越えて活発に交流を深めました。また、新入会員交流会も開催され、新入会員と役員/既存会員との交流を通じて、新たなネットワークづくりと相互理解を深める機会となりました。







日本中華總商會 事務局
2026 年 7 月 31 日